

# 農繁期 レポート

令和5年 6月号

## エースファーム

オーナー 株式会社エース  
産地 鳥取県日野郡日南町  
水田面積 20.1アール  
保証量 玄米905kg  
形態品種 特別栽培コシヒカリ



### 生産者 高橋 秀紀さん

今年は例年になく梅雨入りも早く稲への影響を心配しましたが、水も豊富にあって順調に成長しています。これからの時期は中干しに入ります。中干しは、土壌のガス抜きといった効果もありますので、とても大事な作業の一つです。草刈りが終わった後は、何かすがすがしい空気が流れているように感じます。これから暑くなってきますが、稲づくりに頑張ります。

#### 6月の作業内容

##### 1. 除草剤散布

水稻栽培において、初期除草に成功するか否かは重要な点です。失敗すると、後々の管理が大変になるので、ここがプロの腕の見せ所となります。除草剤散布にもドローンを使うケースも増えています。



ドローンの活用

##### 2. 草刈り

水田の周辺の草刈りはもちろん、周辺の畔や法面（のりめん）の草管理も良質なお米づくりには欠かせません。すべての雑草が敵という訳ではありませんが、この作業により結果的に害虫の減少にも貢献します。



ラジコン草刈り機

##### 3. 水の管理

除草剤散布後から、稲株が順調に分けつするまでの間、水管理は極めて重要です。水漏れのひどい場合や、水管理を誤った場合には雑草の生育が旺盛になり、稲の養分を奪うケースもあります。



深水や浅水管理で調整

##### 4. 中干し

中干し（なかぼし）をする理由は主に2つあります。1つ目は根に空気を与えて根腐れを防止すること、2つ目は根元を強くして倒伏を防止すること。田の表面が軽くひび割れるまで行いますが、その程度は田に合わせてます。



梅雨の終わり頃の風物詩